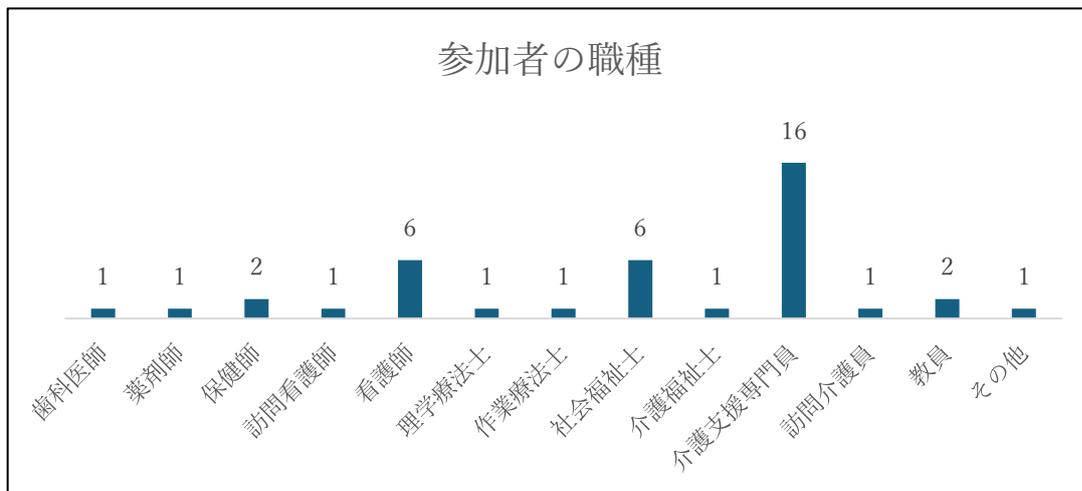
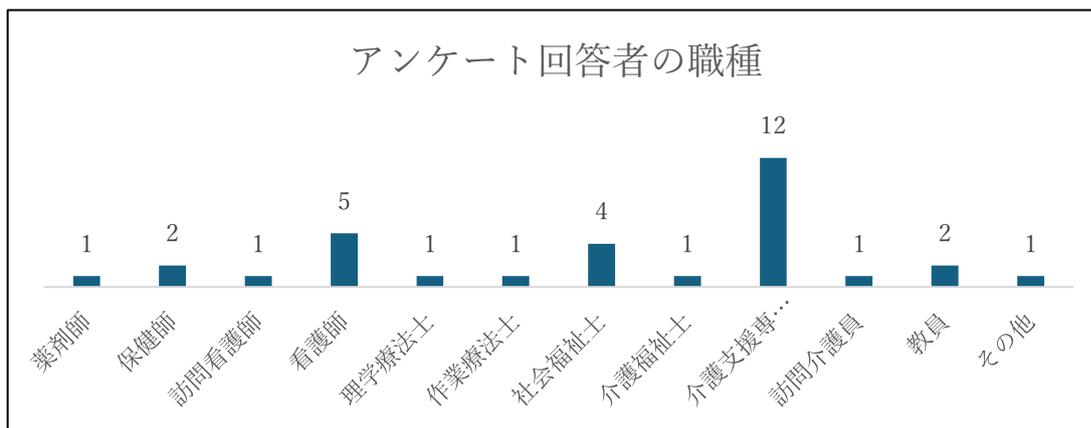


# 令和6年度第2回多職種連携・人材育成研修会研修後アンケート

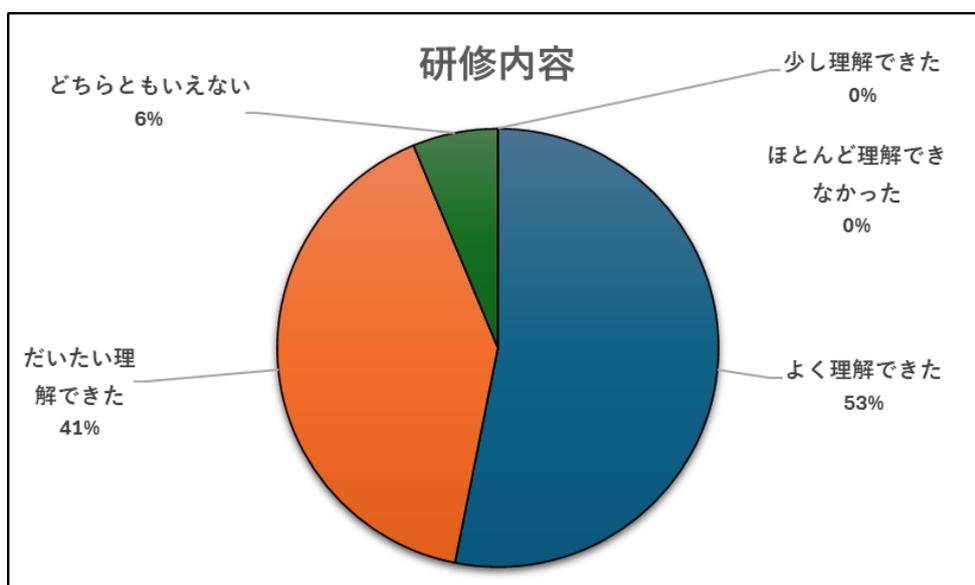
## 参加者の職種



## 1 アンケート回答者の職種



## 2 研修内容はいかがでしたか。



### ①「よく理解できた」と答えた理由

- ・さまざまな役をしてその方の立場に立てました。
- ・ロールプレイでそれぞれの役割を体験できてよかったです。
- ・ロールプレイをしていろいろ考えることができた。気づきがあった。
- ・それぞれの想いがなんとなくわかりました。
- ・ロールプレイをすることで理解しやすかった。
- ・実際にロールプレイをすることで実感できたから。
- ・実際にいろいろな立場になって話ができる。
- ・研修+ロールプレイ+振り返りを行うことで知識が深められた。

### ②「だいたい理解できた」と答えた理由

- ・ロールプレイをしたことで難しさを感じる事ができた。
- ・だいたい理解はできたと思いますが、難しいと思った。
- ・ロールプレイをすることで、いろいろな人の立場に立つことができよかったです。
- ・ACPを軸に面談を展開した訳ではないが、沿った内容になった。
- ・ロールプレイでそれぞれの気持ちがなんとなくわかった。
- ・本人と家族の気持ちを引き出すポイント。

### 1. ③「どちらともいえない」と答えた理由

- ・今日はロールプレイがメインで、他のことも学ばないといけないだろう。
- ・どこまで聞くのがACPなのか、もう少し理解していきたい。

## 3 感想等

- ・本人・家族への聞き取りの際のうなずき、間を空けることなど、今後の参考になりました。
- ・ACP：時期を逃さないように行いたいのが難しい。家族の中の意見の違いがあるときの対応。
- ・本人の意思決定支援のために各専門職の関わりと共に、本人や家族の理解を深めておく必要があると思いました。一緒に考えることが大切ですね。
- ・支援側だけでなく、家族側になることで支援者の意見が反映されがちになりやすいことも気づくことができ、ロールプレイを日頃から行うことが大切だと思いました。
- ・前もって意思確認や意志表示をしておかないと「その時」になってからでは意思を表明できない場合がある。
- ・意識しないといけないことや確認のポイントが良くわかりました。
- ・いろんな立場の方を経験したり観察したりできて視野が広がりました。ロールプレイの時間がもっと長いとおもしろいだろうなと思いました。
- ・支援者側ではなく本人役をすることで、声かけ、目線、寄り添うこと等、対応がすごく大切だと感じた。
- ・ロールプレイをしてみて、やはり普段からしっかりコミュニケーションをとっておくことの大切さを感じた。本人と家族の本心も汲み取ることの難しさを感じた。話の進め方や切り出し方もケースごとに違うため、なかなか考えてしまった。
- ・家族関係の良い家族ほど本音が聞きづらいと思えた。
- ・患者、家族の気持ちに寄り添って、話を聴いていきたいと思った。
- ・ACPの研修において本人や家族の悩みを聞き出すことが困難であることを知れました。本人と家族

両方が納得するために、まず試験的なサービス利用が効果的だと知れました。

- ・ いろいろな立場に立つ経験は、ロールプレイしかできないなと思いました。本人役をしてみたかった。何回も話し合いの場がないと話せないと思った。繰り返して大切。
- ・ 今日学んだことを踏まえてそれぞれの方の気持ちを考えながら今後実施していきたい。色んな情報、専門的な視点から、気持ちを踏まえて提案できるようにしていきたい。
- ・ 多職種のロールプレイはなかなか難しいと思われましたが、みなさんが優しいのでできました。ACPのタイミングや切り出し方は何時でも良いのかもですが、きっかけは必要だと思いました。
- ・ 支援者として家族、本人の間で調整をして、本人の最期を話し合う時間が大切だと思いました。いろいろな立場を考えることができました。
- ・ しっかりと関係性を作っていきたい。いろいろな引き出し、知識を持っておきたいと思った。
- ・ それぞれの立場になって考えて、直接言えること言えないこともある。言えないことを引き出す関係づくりが大切。ケアマネがとても大きな存在で安心できる存在だと改めて感じました。(看護師)
- ・ ロールプレイの10分で支援者が聴きたいことを聞くと、本人や家族の気持ちは促せません。まずはしっかり心と目で聴くことが大事！！専門性を伸ばしていきたい。
- ・ 患者、家族の気持ちに寄り添える支援者に常になりたい。
- ・ ロールプレイは今まで経験したことのない立場になれたことが、良い経験となった。
- ・ 患者や家族役をしてみて、言えないこともあると思いました。ロールプレイは難しかったですが楽しかったです。
- ・ 今回のロールプレイでより具体的にどう支援したらよいか考えることができた。
- ・ 本人・家族の気持ちを聴きながら納得いく方向に進んで行けたらと思いました。
- ・ いろんな役割の人の意見が聞けたのが良かった。元気な時から話をしていきたい。
- ・ 患者や家族の不安や困っていることを聞き出し、一緒に考えていくことが大切。寄り添うことが重要。
- ・ 2事例目、傾眠の時間が増え最後の場所を決めることであったが、正直、最期を聞くことに一生懸命になりすぎました。そのために元気な時から、話せるときから最後のことを何度も話すことが大切なんだと思いました。家族の不安を聞いたはいいが、サービスは入っていて、正直これ以上どうしたら？と思いました。力量って大切だと思います。
- ・ たった10分でも役になりきって、当事者になることができている経験になった。少しでもそれぞれの気持ちがわかったのが良かった。
- ・ 本人役、家族役を初めてやってみて、気持ちがよく分かり、支援者としてどのように伝えるのがよいか考えさせられた。
- ・ 家族、本人の思いに寄り添いながら適切な提案をしていくことが大切と思った。
- ・ 本人と家族の希望や気持ちを聞き、お互いが一番幸せな最期を迎えられるように援助していきたいです。

#### 4 今後、ACPについて学びたいこと

- ・ 同じテーマでまたやっていただきたいです。
- ・ 実際の時期をどうするか(病院でも確認できていない時、在宅での時をいつにするか)で困っています。
- ・ 新見市内のACPの現状。各病院や施設の受け入れ体制。

- ・意志の引き出し方のポイントがあれば知りたい。
- ・実際の事例や最期の対応の仕方、家族に言っておかないといけないことを確認したい。(救急車はよばない。呼びたくなったらどうするかなど)
- ・またロールプレイをしたいです。
- ・何でも経験させてもらって、糧になると思う。
- ・ACPの場面において、本人や家族の思いを効果的に聞き出す方法。
- ・これは確認したほうがよい項目。
- ・どういう風に最期を迎えるか、だいたいの目安や症状など知りたい。
- ・どのタイミングでやるか。
- ・病院内におけるACPをどのようにしているか。
- ・もっと深くACPについて学んでいきたい。どこまで深く聞いた方がよいかなど。

## 5 「難病」について知りたいこと

- ・ALSについて(2)
- ・新見市の制度
- ・難病は何ゆえに「難病」と指定されているか。
- ・筋ジストロフィー
- ・難病受給者証の申請や対象について
- ・保健所、保健師がやっている業務。訪問している？
- ・疾患の基礎
- ・制度など
- ・制度や入院時に受けられる支援など知りたい。
- ・難病のケースは保健所、ケアマネ、包括など関わっている人が多い。それぞれの役割分担が分からなくなる時がある。手帳を持っていない難病の人の支援。

## 6 今後、取り上げて欲しい研修テーマ

- ・新見市内の栄養支援の現状
- ・認知症の治療薬についての勉強会
- ・運動器疾患について
- ・認知症の現状と対策
- ・高齢者免許返納